

担当者	石川千佳子
題目	実は身近にある名作を通して近現代美術を楽しむ
学期	2025年度 第2クォーター (6/11-8/6)
曜日・時間	水曜日18:00~19:30
授業形式	対面
科目の概要	
宮崎県内に、世界的にみて貴重な美術作品があることをご存知ですか？今年開館30周年を迎える宮崎県立美術館や、都城市立美術館等に収蔵されている作品を、美術史的な方法で読み解く面白さを体験してみましょ。併せてフォーヴィスムやシュルレアリスムを中心に、近現代美術に対する理解を深めていきます。	
学習目標	
(1)宮崎県内で鑑賞できる名作について知る (2)美術史の基礎知識を鑑賞の道具として活用できるようになる (3)関心のある作品について自分の言葉で語れるようになる	
授業計画	
第1回	なぜ急にビジネスマンは美術館で学び始めたのか？： 変貌する美術館、道具としての鑑賞法
第2回	19世紀後半～20世紀の美術動向： 絶え間ない変革の始まり・印象派も前衛美術だった
第3回	日本人はキュビスムよりフォーヴィスムがお好き？： パリでフォーヴィスムに出合った佐伯祐三と山田新一
第4回	シュルレアリスムの誕生： 第一次世界大戦による理性への懐疑から生まれた新芸術
第5回	シュルレアリスムの理論と方法： マグリットの作品にみられる意外なモノの組み合わせ
第6回	シュルレアリスムとジェンダー： 宮崎県立美術館のユニークな名作コレクション
第7回	近現代美術の動向を映す瑛九作品の変貌歴： 啓蒙家から真の画家への跳躍まで
第8回	まとめにかえて： 宮崎の現在美術のおもしろさ
主な対象者	高校生以上で美術に関心のある方
テキスト	指定しない
参考書・資料	本江邦夫『中・高校生のための現代美術入門』平凡社 その他、参考書は授業中に適宜紹介 授業時にハンドアウト資料を配布
キーワード	美術鑑賞、近現代美術、シュルレアリスム、宮崎
備考	